

**自動車保険**  
**組員一人一台!**  
 組合損保係へ  
**☎35-2880**

# 酒田建総

発行  
 酒田飽海建設総合組合  
 教宣部長 齋藤 勉  
 酒田市ゆたか三丁目7-12  
 TEL (0234) 35-2880  
 FAX (0234) 35-2881  
 http://www.akumi-kenso.com/

## さかた産業フェア・技能まつり

### 「風の棲む町・酒田匠の技」

#### 大工部門

大工ブースでは、木の温もりを感じながら創作活動を楽しむ木工教室を行い、八十人からの子ども達がプランター作りに挑戦しました。大工さんから「金づちの打ち方」などの指導を受けながら杉板を組み合わせ、金づちで釘を打ち苦戦しながらも完成した時の喜びと達成感を味わっていました。体験コーナーでは、初めてのカンナ掛けで自分で削った木を香りが良いと持



木の温もりを感じた

#### 瓦部門

ち帰る子ども達。実演コーナーでは仕口加工、継手、組立の実演を披露しました。二日間共、準備していた材料も足りないくらい大盛況でした。〔記 菅原 正敏〕



瓦に字を書けるの

#### 左官部門

酒田産業フェアで左官タイル部門では健康を重視した「珪藻土」塗りの実演を行い、子ども達も興味をもち、女性の方々が一生懸命実演に挑戦していました。そしてタイル部門では、小中学生を限定に、モザイクタイルを使用したオリジナルコースター作りを行い、完成したコースターは記念に持ち帰ってもらい皆様に喜んでいただきました。その他会場でユーザーの方々に、エコラットタイプの説明等を行い、サンプル商品とカタログ等の配布を行い、興味を持たれた



私が左官屋さん

#### 板金部門

建築板金の技術を一般市民や就活の若者に伝えることは容易ではなく、去年同様独自の「フレット」を製作し、配布した。奇しくも今年のフェア事務局のチラシにも「匠」のロゴが勢ぞろい！フェア参加の最大の目的は、厳しい自然や気候風土に耐え、災害に強い建物を支える技術・技能の世界に一人でも多く未来の「匠」を呼び込むこと、ものづくりの訓練教育の大切さを周知することです。〔記 高橋 潔〕



折紙のようにはいかないなあー

## 農林水産まつり 2015 森とみどりのフェスティバル 木工教室



今年度は、平成二十八年九月十日(土)一日(日)開催予定の第三十六回全国豊かな海づくり大会(山形)の一年前プレイベントとして、「森とみどりのフェスティバル」、「全国ねぎサミット2015」、「豊かな海づくりフェスタ」の各団体が、国体記念体育館、飯盛山周辺を主会場として、十月三十一日(土)・十一月一日(日)の二日間、三団体同時開催となりました。私達の「子ども木工教室」の造る作品は昨年と同じく、木製踏み台と木製竹馬で三十一日の天候は雨、風も強く大変な天気でした。午前中は開店休業状態、午後から十台ほど、子ども達と一緒に造る事ができました。私達は一日だけの開催でしたが、お祭りは天気が一番です。住宅部、技術部、事務局の皆さん、ご協力ありがとうございました。〔記 栗田 茂〕

### さかたの木を知る

#### バスツアー

十一月二十七日「酒田木づくり夢ネット」と当組合住宅部で、バスツアーを開催しました。参加者十九名で、酒田市内の製材所と乾燥センターを見学しました。最初に(株)阿部製材所を見学し、製材工程を詳しく説明してもらい、参加者は熱心に耳を傾けていました。次に「やまがたの木乾燥センター」を見学しました。この施設は、地域材の利用促進のため、高品質の木製品を低コストで提供するたために造られ、県市町及び組合員の出資で運営されています。部材や大きさによって「高周波乾燥」「高温乾燥」「中温乾燥」で乾燥されます。地域材をできるだけ活用してもらいたいとのことでした。〔記 菅原 静〕



乾燥センターにて



### 年頭のあいさつ

理事長 高橋 協 蔵

組合員の皆様方、新年あけましておめでとうございます。日頃から組合活動にご尽力いただいておりますことに御礼申し上げます。昨年は、組合創立六十周年を迎えました。本年は新たな気持ちで六十一年目をスタートします。仲間とともに自信と希望を持って取り組むことが出来ますようご理解とご協力をお願い申し上げます。組合員、ご家族の皆様のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。



# 青年技能競技 全国大会に出場!!

日々の組合活動、大変ご苦勞様です。組合員の皆様におかれましては日頃よりご理解、ご協力をしてもらい、青年部一同大変感謝しております。

八月二日に行われた全国青年技能競技山形大会で、見事に金賞を受賞した川南支部の小林和洋君と、女性大工として男性でも制限時間内に完成させるのが難しい作品を完成させた酒田大工支部の佐藤智佳さんが、山形県連の代表となり、長野県松本市で開催された全国大会に出場してきました。

山形県大会後も油断することなく、講師の酒田大工支部の齋藤光弘さんと共に全国大会での入賞を目指し、猛練習を繰り返して挑んだ全国大会でした。

やはり各県を代表して参加して行く全国大会なだけあって、開会式から空気の重さ、張りつめた感じがあり、独特の緊張感が会場中にありました。

全国大会には三十一県連から七十三名の出場で、その内の女性大工の参加は四名と、初めて女性参加の大会でした。張りつめた空気の中で競技が開始され、酒田飽海の選手も集中し、そして見事に時間内に素晴らしい作品を完成させました。開会式と違い、選手も安堵の表情が多い中で閉会式でした。

結果は、小林和洋君が奨励賞、佐藤智佳さんが特別賞となり、三賞は逃しました。賞と共に賞を受けたが、酒田

酒田青年部としては嬉しいながらも、三賞を目指してた分、悔しさもある結果ともなりませんでした。

来年も全国大会の金賞を目指し、青年部一同、選手と共に頑張りますので、今後も応援よろしくお願いします。

〔記〕小野寺 優



奮闘中の智佳さん

## 安全パトロール

近年建設現場の労働災害状況を見ると、墜落・転落による死傷者が増加傾向にあり、中でも足場からの墜落・転落による労働災害が多く発生しています。

労働対策部では、安全対策労働災害事故防止に向け、二十七年七月二日に「県下一斉安全パトロール」と、十二月四日には「冬の労災をなくそう運動」、パトロールの二回、「木建対」傘下のメンバーと一緒に建築現場のパトロールを実施しました。七月の一斉パトロールでは、墜落・転落事故の一番の原因は、足場にあるところ

## 労災事故防止は安全な足場から

とから、労働安全衛生規則に基づいた足場設置になっているのか、また熱中症の予防への呼び掛け等も行い、事故防止に取り組んだところでです。

また十二月のパトロールでは、足場の確認は当然のこと、冬型災害の凍結や積雪による転倒災害が発生しやすくなるため、注意の呼び掛け等も行い、また各現場責任者の方から安全点検表に添って聞き取りながら、記入・写しを本人に手渡し、事故のないようお願いをした。

〔記〕土井 正男

## お悔やみ申し上げます

支部	氏名	死亡月	年令	支部	氏名	死亡月	年令
酒田東	石井平市	H27年6月	90歳	酒田	加藤誠一	H27年8月	92歳
酒田東	齋藤三喜夫	H27年6月	55歳	酒田東	今井純太郎	H27年8月	63歳
遊佐第2	荒生吉文	H27年6月	63歳	左官	渡部幸治	H27年8月	83歳
八幡	遠田敏夫	H27年7月	66歳	大工第2	佐藤和雄	H27年9月	79歳
遊佐第1	伊藤喜代治	H27年7月	72歳	大工第1	笹村功	H27年10月	72歳
大工第3	鈴木重弘	H27年7月	70歳				

H27年6月～H27年11月

## 会場を沸かせた歌謡ショー

### 家族慰安会



十月七日(木)、第五十三回家族慰安会が希望ホールで開催された。第一部は、昨年も好評だった本田恵美子と本田三姉妹による津軽三味線、津軽民謡はますます腕に研ぎが掛り、すばらしい音色に聞き惚れた。

次に、鶴岡市出身、我々組合員と同じ造園業と二足の草鞋を履く若き演歌歌手、佐藤善人さんの力強い歌が披露された。

第二部は、東京大衆歌謡楽団、この人達も三人兄弟で結成され、昭和初期の流行歌を持ち歌として、数多く歌われ懐かしく、

〔記〕寒河江英雄

一緒に口ずさむ人もいました。第三部は、メインステージ祭小春ショー。彼女はあまり聞きなれない歌手と聞いていたが、自己紹介の中で「サンショウは小粒でピリリと辛い」と言われたとおり、歌は勿論、トークもうまく観客を笑いの渦でいっばいにしてくれ、本当に楽しい歌謡ショーでした。一つ残念だったのは、主婦の会の踊りが見れなかったことです。

この会を企画された事務局、ご協賛くださいました方々にお礼を申し上げます。次会の家族慰安会も期待します。

## 木工教室

# 大工さんはすごい!

十一月十七日、酒田市立黒森小学校に於いて、五年生七人、六年生十一人計十八人を対象に、DVDボックスを課題とした木工教室を行いました。

当組合より板垣正さん、栗田茂さん、佐藤昭利さん、菅原副理事長、私の計五人が指導員として行きました。

菅原副理事長の挨拶で始まり、自己紹介、木の性質、特性等について説明し、作業を始める前に墨付け(寸法出し)、釘打ち方等の作業を説明しながら一つ一つ試作しました。作り終えたら子ども達から「早やっ!!」の声。(プロだからの自負)

作業を開始すると、子ども達の個性が出はじめ、最後まで墨付けを終えてから組立を始める子、墨付けを途中で終わらせ、組立を始

〔記〕安藤美智博



## 住宅デーが各地で開催されました!

平成二十七年の住宅デーが五月三十一日(日)、平田地区から始まり、最終が十一月八日(日)、遊佐地区をもって全て終了しました。

今年の開催場所は二十六ヶ所になりました。内容としては、一千三〇七丁の包丁研ぎ、まな板削りは四枚あり、一六九人の組合員が集合し行われました。また、酒田市立第四中学校と遊佐町内(十一ヶ所)の改修工事に四十一名の組合員が参加されました。

主婦の会よりお手伝いをいただき、テントの中も華やい

〔記〕大井 初子

